

感染症情報 7月14日～20日

府下小児科185医療機関(堺市17)から

①感染性胃腸炎	838例(堺市	50例)
②伝染性紅斑	426例(堺市	26例)
③ヘルパンギーナ	400例(堺市	15例)
④溶連菌感染症	310例(堺市	42例)
⑤手足口病	165例(堺市	11例)

府下291医療機関(堺市25)から

インフルエンザ 53例(堺市 2例)

報告数による順位。前週比2.6%減の2,489件。感染性胃腸炎は府下で前週から10%減、堺市で前週45例→今回50例。伝染性紅斑が府下で9%減、堺市で前週38例→今回26例。ヘルパンギーナが府下で12%増、堺市で前週20例→今回15例であった。溶連菌感染症が府下で17%増、堺市で前週29例→今回42例。手足口病が府下で29%減、堺市で前週18例→今回11例。

インフルエンザが府下で前週54例→今回53例は1例減。堺市で前週9例→今回2例であった。全数把握疾患の百日咳は大阪府で88例→72例は18%減、堺市は2例→3例であった。今年に入ってから府内の累積報告数は2,118例となった。

府下291医療機関(堺市25)から

新型コロナウイルス感染症 718例(堺市 67例)
大阪府定点 2.47 堺市定点 2.68

新型コロナウイルスの定点報告は、府下で22%増、定点当たり2.02→2.47。堺市は41例→67例で63%増、定点当たり1.64→2.68だった。

府下291医療機関(堺市25)から

急性呼吸器(ARI)感染症 11,125例(堺市 983例)
大阪府定点 38.23 堺市定点 39.32

急性呼吸器感染症は大阪府で前回より1%増、定点当たり37.98→38.23、堺市で前回より4%減、定点当たり40.84→39.32であった。

麻疹や風疹の報告はなかった。